

貯法	室温保存
使用期限	包装に表示の使用期限内に使用すること。

肝機能改善剤

**リバオール® 散10%**  
**リバオール® 錠20mg**  
 (ジクロロ酢酸ジイソプロピルアミン製剤)  
**LIVERALL® Powder 10%, Tablets 20mg**

	散10%	錠20mg
承認番号	22000AMX00741	22000AMX00740
薬価収載	2008年6月	2008年6月
販売開始	2008年6月	2008年6月
再評価結果	1984年9月	1984年9月

【組成・性状】

1. 組成

散1g又は1錠中にそれぞれ次の成分を含有

販売名	有効成分	添加物
リバオール散10%	ジクロロ酢酸ジイソプロピルアミン 100mg	グルコン酸カルシウム水和物、乳糖水和物
リバオール錠20mg	ジクロロ酢酸ジイソプロピルアミン 20mg	タルク、ステアリン酸マグネシウム、バレイショデンブ、グルコン酸カルシウム水和物、乳糖水和物

2. 製剤の性状

販売名	剤形	色	におい	外形			識別コード
				直径(mm)	厚さ(mm)	重さ(mg)	
リバオール散10%	粉末	白色又はほとんど白色	特異臭	-			-
*リバオール錠20mg	錠剤	白色	-				NF 328
				7.1	3.0	130	

【効能・効果】

慢性肝疾患における肝機能の改善

【用法・用量】

ジクロロ酢酸ジイソプロピルアミンとして、通常成人1日20~60mgを2~3回に分割経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
精神神経系	頭痛
消化器	腹痛、口渇、食欲不振
その他	皮膚乾燥、歯肉の腫脹

2. 高齢者への投与

減量するなど注意すること。[一般に高齢者では生理機能が低下している。]

3. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。)

【臨床成績】

本剤は慢性肝疾患症例において、肝機能の改善に有用性が認められている。

慢性肝疾患患者を対象として、本剤とinactive placebo(以下Pと略す)との二重盲検比較試験が行われた。その成績の概略は次の如くである。  
○肝生検法によって診断された慢性肝炎患者360例のうち、解析の対象となった348例(本剤投与群173例、P投与群175例)について、12週間にわたり肝機能の変動を中心に検討された。その結果、本剤投与群ではP投与群に比べγ-GTPの有意の低下、アルブミン(g/dL)並びにコリンエステラーゼの有意の上昇が認められた。また群内比較では本剤投与群でγ-GTP、血清蛋白、アルブミンに有意の改善がみられた<sup>1)</sup>。

【薬効薬理】

1. 肝再生促進作用

ラット再生肝の肝重量及び蛋白量の増加<sup>2)</sup>、formate-<sup>14</sup>C、glycine-<sup>14</sup>Cの核酸塩基中へのとり込みの増加<sup>3)</sup>が認められている。

2. 抗脂肪肝作用

黄変米カビ毒素処理マウスにおいて肝のDNA、RNAの減少を抑えるとともに脂肪の増加を抑制する<sup>4)</sup>。またコリン欠乏ラットにおいて脂肪肝の生成を抑制する<sup>5)</sup>ことが認められている。

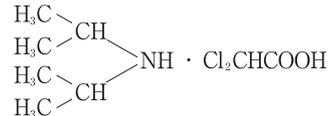
【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ジクロロ酢酸ジイソプロピルアミン  
(Diisopropylamine Dichloroacetate)

分子式：C<sub>6</sub>H<sub>15</sub>N・C<sub>2</sub>H<sub>2</sub>Cl<sub>2</sub>O<sub>2</sub>

分子量：230.13

構造式：



性状：白色の結晶性の粉末で、においはなく、味は苦い。水、メタノール又は酢酸(100)に極めて溶けやすく、エタノール(95)に溶けやすく、無水酢酸にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにやや溶けにくい。

【包装】

リバオール散10% (缶) 100g

リバオール錠20mg (PTP) 100錠

【主要文献】

- 1) 平山千里ほか：肝胆膵 1983；6(4)：637-645
- 2) 小田正幸ほか：日本臨牀 1960；18(9)：2449-2455
- 3) 岡 博ほか：肝臓 1963；4(3)：180-182
- 4) 高橋忠雄ほか：臨床内科小児科 1960；15(4)：355-361
- 5) 金山隆一ほか：金沢医科大学雑誌 1976；1(3)：188-194

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

アルフレッサ ファーマ株式会社 製品情報部  
〒540-8575 大阪市中央区石町二丁目2番9号  
TEL 06-6941-0306 FAX 06-6943-8212

*alfresa*  
製造  
販売元 アルフレッサファーマ株式会社  
大阪市中央区石町二丁目2番9号